

【JBA 資料】

【基準規則に反する行為が発生する具体事例】 ※特に注意して下さい。

・オールコートでピックアップするディフェンスを行う場合は、スローインするオフェンスにマッチアップ(1.5m以内)しなければならない。

またマッチアップゾーンはマンツーマンディフェンスではない。

・オフェンスが明らかなアイソレーションを繰り返している場合、ディフェンスは自分のオフェンスを少しでも据えていれば違反とは見なさない。(首振り等で確認していればOK)



・2線・3線のディフェンスに距離の指定はないが、他の項目に触れる場合は違反の対象になる。

5番センターが外に出て
ボールをもらおうとしている

5番にボールが入った
時に1.5mの位置に行く
ことができない



【その他→旗を下げる(解除)されるタイミング】

- 現象が改善された時
- 1線が抜かれてしまった時(ヘルプ状態の時)

【マンツーマンコミッショナーの主な目的】

- マンツーマンコミッショナー設置の主な目的は、マンツーマンに対する理解を推進し、円滑に試合運営

を行い、子どもたちがよりバスケットボールを楽しめる環境を構築することであり、試合における違反

行為を取り締まることはありません。

その他、ご不明な点は U12 部会 技術部までご連絡下さい。